

## 【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (2月11日~2月23日分)

### 米 Liquid Audio、IBM と技術提携を発表

米 Liquid Audio は、IBM の著作権管理 (DRM) システム「Electronic Media Management System (EMMS)」を同社のオーディオ再生ソフトウェア「Liquid Player」の次期バージョン 7.0 に統合するための提携を結んだと発表した。

この提携は Liquid Audio が提供するフォーマットに中立なソリューションのデジタルメディア技術をサポートすると共に、IBM の新しい「Digital Media Factory framework」を利用することのできる使用許諾契約の最初のひとつでもあるとしている。

日本においてはレコードレーベルが自身のコンテンツの配信に利用している主なフォーマットの2つが Liquid 方式と EMMS 方式であり、この両者をひとつのソフトウェアで利用できるようになることはコンテンツホルダーに柔軟性とセキュリティを提供することになるとしている。

(2/23)

### WIPO、インターネットにおける著作権保護条約を5月に施行

世界的な著作権機関(WIPO)は、インターネットなどのデジタル技術における海賊行為から音楽家やレコード会社を保護するための条約「WIPO Phonograms and Performances Treaty」(WPPT; WIPO 演奏上演条約)を2002年5月20日に施行すると発表した。

WPPT は、1996年12月に採択された条約で、批准国が30カ国を越えた時点で施行することになっていた。今回、2002年2月20日にホンジュラスが30カ国目として批准し、施行が決定した。

同時に WIPO は関連条約の「WIPO Copyright Treaty」(WCT; WIPO 著作権条約)を2002年3月6日に施行することも発表した。

この2つの条約はインターネットを初めとするデジタル環境において、作品や演奏、録音物などの配信や取引、利用を制限する初の国際条約となる。これにより、デジタル時代に則した国際著作権法が整うことになる。

WPPT では実演家やレコードレーベル、WCT では作家や芸術家、コンテンツ企業などを対象としている

WPPT は、録音/録画または生放送されたパフォーマンスを Web 上で無許可で利用することを禁じている。

また、WPPT と WCT のもと、批准国は「作者、演奏者、レコード製作者が、それぞれの作品の利用方法を監督し、その報酬を受ける」権利を保証する。

なお同条約は、締約国においてのみその効力を有する。

(2/22)

### MIS、サービスネーム「Genuine(ジェニユイン)」を発表

モバイルインターネットサービス(MIS)は、4月から商用サービス開始予定の MIS 方式の『街角無線インターネット』のサービス名を、『Genuine(ジェニユイン)』と決定したと発表した。

MIS の街角インターネットサービスは IEEE802.11b をベースに認証セキュリティとハンドオーバー技術を付加し、公共空間に設置したアクセスポイント経由で最大11Mbpsのインターネット接続サービスを提供するもの。ユーザーは市販の無線 LAN アダプタを利用することができる。

正式ロゴマークは、別途発表する予定としている。

(2/22)

### 中国電力グループ、総合ブロードバンドサービスを開始

中国電力グループの情報通信事業会社である中国情報システムサービス(CIS)は、光ファイバー網を活用し光ファイバー、無線

LAN、PHS という3つの接続方式で定額制サービスを提供するインターネット接続サービス「MEGA EGG (メガ エッグ)」を2002年2月20日からサービスを開始すると発表した。

最大100MbpsのFTTHサービス「MEGA EGG ファイバー」が月額基本料金5,400円(別途機器使用料900円、配線使用料200円が必要)、最大11Mbpsの無線LANアクセス「MEGA EGG ウェーブ」が月額3,600円(別途機器使用料600円) 最大64kbpsのPHSアクセス「MEGA EGG 64」が月額3,000円となっている。いずれも別途プロバイダ料金などは必要ない。

サービス提供地域は広島市(中区・西区)・廿日市市の一部地域(約37,000戸)を対象にサービスを開始、2002年4月には同地区で約67,000戸程度にサービス提供地域を拡大、2004年度中には中国地域の主要都市圏圏域にサービス提供地域を拡大していく予定としている。

(2/21)

### ナカミチ、民事再生法を申請

ナカミチは、2002年2月19日、民事再生法の適用を東京地方裁判所に申請した。負債総額は約200億円。

ナカミチは、東証2部上場の老舗オーディオメーカー。1997年に第三者割当増資を行い、香港のザ・グランデ・ホールディングズ・リミテッドの傘下に組み入れられていた。

最近ではインテリア性を取り入れたCD再生システム「Sound Space」シリーズを展開しており、EMD プレーヤー「Sound Space 2」もラインナップされていた。

今後は、資本金を100%減資、出資元のザ・グランデ・ホールディングズ・リミテッドを対象に第3者割り当て増資を行い、再建を図る方針。再生手続きの決定は3月上旬にも行なわれるとしている。

なお、ナカミチ製品を日本全国に販売し、アフターサービスを実施しているナカミチ販売株式会社は、別法人であるため、今回の申し立てに伴う業務運営上において法的な制約

を受けることは一切なく、ナカミチ製品の継続的な販売、ならびにアフターサービスに関しては、これまで通り行なわれるとしている。(2/20)

## 米 InterTrust、携帯端末向け配信プラットフォームを発表

米 InterTrust Technologies は、携帯端末向けの著作権管理 (DRM) 技術「Rights|Mobile」を発表した。

「Rights|Mobile」は、第2世代の Rights|System DRM プラットフォームを拡張したもの。特に著作権保護にフォーカスしており、携帯電話や PDA など携帯端末への無線ネットワークにデジタルコンテンツの著作権保護および DRM の仕組みを提供することができる。

「Rights|Mobile」は、Symbian OS をベースにした次世代携帯電話に最初の高度な DRM として採用されるとしている。(2/20)

## 松下、オーディオ統合ソフトウェア「SD-Jukebox」をアップデート

松下電器産業は、オーディオ統合ソフトウェア「SD-Jukebox」を最新バージョンの V2.4 にアップデートする差分モジュールを公開した。

主な変更点は以下の通り。

- ・ WMA (Windows Media Audio) の SD への書き込み (チェックアウト) に対応
- ・ Windows 2000 に対応
- ・ GUI の一部を改善
- ・ SV-SR100 で SD メモリーカードに録音した音楽データのパソコンへの移動に対応 (別途「Migrate Plug-in」も必要)
- ・ AAC と MP3 フォーマットで、パソコンより SD カードダイレクト再生が可能

また、Windows XP Professional で利用する場合は以下のような制限事項が公開されている。

- ・ Power Users アカウントでは、インターネットからの音楽配信を利用できない
- ・ Power Users アカウントでは、SD メモリーカードをフォーマットできない
- ・ Power Users アカウントでは、CDDB 機能を利用できない

なお、Windows 2000/XP を使用する場合は、SD-Jukebox V2.4 へアップデート後、Windows 2000/XP 対応の USB リーダーライター用ドライバーソフトも必要 (SH-SSK1 の USB リーダーライター用ソフトは Windows 2000/XP 対応済)

(2/19)

## 米 RealNetworks、携帯端末向け配信プラットフォームを発表

米 RealNetworks は、「RealAudio/RealVideo」形式や「Third Generation Partnership Program」(3GPP) の標準仕様に準拠したマルチメディアコンテンツの制作、配信および再生を可能にする携帯端末向けのマルチメディア配信プラットフォーム「RealSystem Mobile」を発表した。

「RealSystem Mobile」は、第8世代の RealSystem をベースにしており、「RealSystem Producer」「RealSystem Mobile Server」「RealSystem Mobile Gateway」「RealOne Player for mobile devices」から構成される。

コンテンツは H.263v2 と MPEG4 に対応しており、既に日立製作所や米 Intel、フィンランドの Nokia、米 Sun Microsystems、英 Symbian、米 Texas Instruments などが支持を表明している。(2/19)

## 大容量光ディスクビデオレコーダー規格を9社で策定

日立製作所、LG 電子、松下電器、パイオニア、フィリップス、サムスン電子、シャープ、ソニー、トムソン マルチメディアの9社は、波長 405nm の青色レーザーを用いて、CD や DVD と同じ直径 12cm の相変化型光ディスク片面1層に最大 27GB の映像データを、繰り返し記録・再生することができ

る次世代大容量光ディスクビデオレコーダー規格「Blu-ray Disc」の仕様を策定したと発表した。

「Blu-ray Disc」では、短波長の青色レーザーを用いるとともに、レーザーを集光する対物レンズの開口径 (NA) を 0.85 とすることにより、ビームスポットを微小化している。また、レンズの高開口化に対応した光透過保護層厚 0.1mm のディスク構造を採用することで、ディスクの傾きによる収差を低減、読み取りエラーの低減や記録密度の向上を図っている。

これにより、ディスクの記録トラックピッチを DVD の約半分の 0.32 μm に微細化し、ディスク片面に最大 27GB の高密度記録を実現した。

映像の記録には、MPEG2 トランスポートストリームを使用、デジタルハイビジョン放送を高画質のまま記録し、また映像とともに受信する他のデータを同時に記録することも可能となる。

また、ディスクにはあらかじめユニークな ID が書き込まれており、これを用いた高度な著作権保護機能を容易に実現することができる。

メディアは光ディスク記録再生面の使用上のキズや汚れを防止し取扱いが容易なカートリッジ構造を採用。データ転送レートは 36Mbps、記録容量は 23.3/25/27GB の複数が規定されている。

9社は今後、本仕様を積極的に関連する業界に提案するとともに、2002年春頃をめどにライセンスを開始する予定としている。(2/19)

## ケーブルモデムの新規規格に日本提案が承認され最大 42Mbps に

総務省は、ケーブルインターネットで使用するケーブルモデムに関する国際電気通信連合 (ITU) 勧告に、超高速インターネット接続に対応した変調方式を追加する日本の改訂案が、2002年2月16日に正式に発効されることとなったと発表した。

具体的には、ケーブルインターネット対応

モデムに関する報告に記述されている伝送信号の変調方式に、下り：256QAM、上り：16QAM を追加することを提案したもの。代替承認手続き(AAP)を経て、改訂報告として発効の予定となっている。

これにより、下りの伝送速度が最大 42.192Mbps、上りが最大 9.216Mbps のケーブルモデムが実現できる。

今後の予定としては、2 月下旬に社団法人日本 CATV 技術協会にて国内民間規格が改訂され、2002 年夏にはメーカーから製品が登場する見込みとなっている。

(2/16)

## 米 FCC、UWB を超高速無線ネットワーク技術利用へ規制緩和

米 FCC は、広帯域を利用する無線技術「UWB(Ultra Wideband)」の規制緩和として、放射雑音の規制である Part15 を改正し、超高速の無線ネットワーク技術として使えるように発表した。

UWB は既存の無線技術と異なり、搬送波(キャリア)を使わず、ナノ秒程度の時間のパルスを送信することでデータを送る技術。非常に広い帯域にわたって、ノイズ以下の低い送信出力の信号を送るのが特徴。これまでは軍事用レーダーや災害時の人命捜索などの目的で開発が進んでいた。

利用する帯域幅が数 GHz と広いため、数十 Mbps から数百 Mbps の最大データ伝送速度を達成可能と期待されている。また、伝送時の消費電力が低く、空中線電力はわずか数十  $\mu$ W/MHz ですが、数百 mW ~ 数 W を消費する従来システムに対して 1/100 に減らせる可能性もある。

今回の規制緩和の内容は大きく二つ。1 つは利用できる周波数帯域が 3.1GHz ~ 10.6 GHz であること。もう 1 つは用途が屋内利用が携帯機器の PtoP 利用に限定されることとなっている。

(2/15)

## SCEI、PS2 をプラットフォームにしたブロードバンドサービスで音楽配信も

ソニー・コンピュータエンタテインメント(SCEI)は、「プレイステーション 2」(PS2)を端末として利用したブロードバンドサービス「PlayStation BB」を 2002 年 4 月より開始すると発表した。

SCEI は、「PlayStation BB」サービスに於いて独自の認証システム「DNAS(Dynamic Network Authentication System)」を構築、これをサーバホスティング/ハウジング、課金・料金回収のサービスとして、パートナーであるネットワーク事業者経由でコンテンツホルダーに提供していく。

「PlayStation BB」サービスを利用したいユーザーは、パートナーとなっているネットワーク事業者より PS2 専用ブロードバンドユニットの提供を受ける。

このブロードバンドユニットは専用 HDD と 10/100Base-T のイーサネットポートがセットになったもので、ネットワーク事業者によりレンタルや買い取り方式で提供される。

ブロードバンドユニットの HDD 内にはツール「ブロードバンドナビゲータ」がインストールされている。この「ブロードバンドナビゲータ」の基本機能は以下の通り。

- ・PS エミュレーター/PS2 プレーヤー：ネットワーク経由で HDD にダウンロード(e-Distribution)した PS/PS2 ソフトウェアを再生する機能
- ・メール/インスタントメッセージ：専用 ID を発行し、メール/インスタントメッセージの送受信が可能
- ・プレイステーション・ジュークボックス：ネットワーク経由で HDD にダウンロード(e-Distribution)した音楽を再生する機能
- ・リアルプレーヤー：ネットワーク経由でストリーミング映像を再生する機能

SCEI では、今後も各種ネットワーク・インターフェースの追加やファームウェアの拡張追加を予定しており、PVR やホームサーバ

ーなどを想定している。

なお、この発表を受けて、パートナーとなるネットワーク事業者として Yahoo!BB、BROBA、AII に加え、OCN、So-net、ぶらら、@nifty、BIGLOBE が発表されている。

(2/14)

## ソニー、メモリスティックスロット搭載 DVD プレーヤー発表

ソニーは、メモリスティックスロットを初搭載した、コンパクトな B5 サイズの DVD プレーヤー「DVP-F41MS」を発表した。2002 年 3 月 1 日発売予定。オープン価格。

DVP-F41MS はメモリスティックスロットを搭載し、マジックゲートメモリスティックに記録した ATRAC3 ファイルを再生することができる。

また、デジタルスチルカメラ「サイバシヨット」やビデオカメラ「ハンディカム」でメモリスティックに記録した静止画(DCF 準拠の JPEG 画像)を、テレビに映し出すことも可能。

なお、メモリスティックに記録した MP3 ファイルは再生できない。

本体はコンパクトな B5 サイズで、横置きだけでなく縦置きも可能、シースルーデザインを正面にした置き方もでき、奥行きが少ない場所にも設置できる。また、本体に壁掛け用の穴を設けてあり、壁にかけて利用することもできる。

DVD レコーダーのビデオモードで録画した DVD-RW/R ディスクの再生はもちろん、VR モードで録画した DVD-RW ディスクの再生にも対応。音楽用 CD(CD-DA)もしくはビデオ CD フォーマットで記録された CD-RW/R ディスクの再生やパソコンなどで記録した JPEG 画像や MP3 ファイルの再生も可能となっている。

(2/13)

## 有線ブロード、1 月末時点の進捗を発表

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業(FTTHブロードバンドインテ

ネットサービス)について、2002年1月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、Webでサービスの申込みを行なった登録数が67,318件、工事が確定している契約者数が10,244件、回線が開通している取り付け数が4,869件となり、契約者数が1万の大台を越えた。

12月末時点での数字と比べると、登録数で約8,800件、契約者数で約680件、取り付け数で約780件の増加となっており、取り付け数の増加は前月より若干増えてはいるものの、登録者数の増加には追いついていない状態が続いている。

なお、12月には展開エリアが43から48に増え、ユーザーカバー数も約80万に増やしている。

(2/12)

**EMD Magazine 第14号**

発行 2002年2月25日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース